

授業科目	保育実習指導 I				単位	2		
履 修	選択	関連資格	保育士		ナンバリング	CH11227J		
開講年次	1 年	開講時期	通年	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP2-1 DP3-1 DP3-2 DP4-1 DP4-2 DP5-1 DP5-2 DP5-3			
担当教員	命婦 恭子、篠木 賢一、笠 修彰、池田 佐輪子							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>この授業は、保育実習(保育所実習 I、施設実習 I)を円滑に進めていくための知識・技術を習得し、保育実習の意義・目的・内容・方法について理解し、自己の課題を明確化するとともに、実習の振り返りを通して、実習体験を深めることを目的とする。そのために、事前指導として学内において講義 や実務家教員によるグループワークなどを用いた演習や、実習施設において見学・オリエンテーション等を行う。また、事後指導として、実習の振り返りや実習施設の評価を通して自己評価を行う。さらに、実習記録の意義及び実習記録の書き方、実習にかかわる事前事後の事務手続きの方法についても説明する。</p> <p>なお、保育実習指導への出席を、保育実習(保育所実習 I、施設実習 I)を実施するための必須条件とする。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1.保育実習の意義・目的について説明できる。 2.保育実習に対する心構えをもち、実習課題を明確化できる。 3.実習記録の意義・方法を理解し、実際に記録できる。 4.実習施設の概要について説明できる。 5.実習施設における担当保育士の指導を通して、保育内容や子どもへの理解を深める。 6.保育実習に関する事務手続きについて把握し、適切に処理できる。 7.実習の事後指導及び実習施設の評価をもとに、自己評価を行い、新たな学習目標や課題を明確にする。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	40	0	30	30	100	
知識・理解 (DP1-1)			4		3	3	10	
知識・理解 (DP1-2)			4		3	3	10	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)			4		3	3	10	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)			4		3	3	10	
関心・意欲 (DP3-2)			4		3	3	10	
態度 (DP4-1)			4		3	3	10	
態度 (DP4-2)			4		3	3	10	
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)			4		3	3	10	
技能・表現 (DP5-2)			4		3	3	10	
技能・表現 (DP5-3)			4		3	3	10	
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
標準的なレベルに加え、自主的かつ積極的に課題の設定に取り組み、絵本、教材、てあそびなどの教材研究を積極的に行い、実習に真摯に取り組む姿勢を持つ。また、各種提出物についても、検討・省察が加わっており、深く洞察されている。				上記の達成すべき行動目標についていずれもできている。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復	

				習時間 (分)
1	オリエンテーション、保育実習 I の意義・目的・内容について(命婦・篠木・笠・池田) 授業の進め方とルールについて説明し、保育実習全体の意義と目的について解説する。	オリエンテーション	復習: 講義内容を見直す	30
2	保育所実習・自主実習のねらいと内容(篠木・池田) 保育所実習のねらいとその内容について解説する。	講義・演習	復習: 講義内容を見直す	30
3	実習先の調査と研究(篠木・池田) 保育所実習の実習先について理解を深める	講義	課題: 保育所実習 1 の希望先を考えてくる	30
4	施設実習のねらいと内容(笠・命婦) 施設実習の意義とねらいについて解説する	講義	復習: 講義内容を見直す	30
5	保育士としての基本(篠木・池田) 実習中のマナー、電話のかけななどについてロールプレイを用いた演習を行う	講義・演習	復習: 講義内容を見直す	30
6	施設の理解 1(笠・命婦) 児童福祉施設の種類や役割についての理解を深める	講義	復習: 講義内容を見直す	30
7	実習日誌の意義と記入方法1(篠木・池田) 実習日誌の意義と記入方法を解説しワークを行う	講義・演習	復習: 講義内容を見直す	30
8	保育課程と指導計画(池田・篠木) 保育課程と指導計画について解説し、演習を用いて理解を深める	講義	復習: 講義内容を見直す	30
9	施設の理解 2(笠・命婦) 児童福祉施設のうち、養護系施設についての理解を深める	講義・演習	復習: 講義内容を見直す	30
10	施設の理解 3(命婦・笠) 児童福祉施設のうち障害系の施設についての理解を深める	講義・演習	復習: 講義内容を見直す	30
11	実習日誌の意義と記入方法2(笠・命婦) 施設実習における実習日誌の記入方法について解説し、演習を用いて理解を深める	講義・演習	復習: 講義内容を見直す	30
12	実習に関する書類の作成(篠木・池田) 実習のために必要な書類を作成する	講義・演習	復習: 講義内容を見直す	30
13	実習の服装、身だしなみ、態度について(篠木・池田) 実際に実習に取り組む服装や身だしなみ、態度について具体的に学ぶ	講義・演習	復習: 講義内容を見直す	30
14	保育所実習の目標設定(池田・篠木) 自主実習に向けての自己課題や目標を設定する	講義・演習	復習: 講義内容を見直す	30
15	自主実習の直前指導と諸連絡(篠木・池田) 自主実習に向けて、実習先へ提出する書類の確認と、諸連絡、諸注意を伝える	講義・演習	復習: 講義内容を見直す	30
16	自主実習のふりかえり(命婦・篠木・笠・池田) 自主実習のふりかえりをし、学びを深める	講義・演習	復習: 講義内容を見直す	30
17	自主実習の記録のふりかえり(篠木・池田・笠・命婦) 自主実習のふりかえりから、今後の学びの目標につなげる	講義・演習	復習: 講義内容を見直す	30
18	保育所実習のための教材作り(命婦・池田) 保育所実習 1 のための教材作りを実践する	講義・演習	復習: 講義内容を見直す	30
19	特別支援教育と養護施設における処遇について(笠・命婦)	講義・演習	復習: 講義内容を見直す	30

	特別支援教育と養護施設における子ども支援について理解を深める			
20	実習に関する事務手続きについて(篠木・池田) 保育所実習に関する事務手続きについて説明し、書類の作成などを行う	講義・演習	復習:講義内容を見直す	30
21	保育士としての倫理と最善の利益の保障(篠木・池田) 基本的な職業倫理と、子どもの最善の利益を保障することについて事例を通して考える	講義・演習	復習:講義内容を見直す	30
22	実習報告会 1(命婦・篠木・笠・池田) 2年生の実習経験を聞き学びを深める	講義・演習	復習:講義内容を見直す	30
23	実習報告会 2(命婦・篠木・笠・池田) 2年生による実習報告から、自分の課題を発見する	講義・演習	復習:講義内容を見直す	30
24	実習報告会 3(命婦・篠木・笠・池田) 2年生による実習報告からえた学びをもとに、今後の自分の課題について考察する	講義・演習	復習:講義内容を見直す	30
25	保育所実習1の自己課題の設定(篠木・池田) 保育所実習1に向けて、自己課題をそれぞれ設定する	講義・演習	復習:実習報告会の内容を整理する	30
26	教材発表(篠木・池田) 保育所実習1に向けて作成した教材を発表する	演習	復習:実習報告会の内容を整理する	30
27	保育表現について(命婦・池田) 保育における表現のあり方について体験的に学ぶ	講義・演習	課題:体験的な学びを小レポートにまとめる	30
28	施設実習1・2の実習先の決定と確認(笠・命婦) 施設実習の実習先を確認し実習先への理解を深める	講義・演習	復習:講義内容を見直す	30
29	保育所実習 I の直前指導と諸連絡(篠木・池田) 保育所実習の直前指導と書類の作成、実習中の連絡方法などについて説明する	講義・演習	復習:講義内容を見直す	30
30	保育所実習1の事後指導(篠木・池田) 保育所実習1のふりかえりを行い学びを深める	講義・演習	復習:講義内容を見直す	30
理解に必要な予備知識や技能	実習先の各施設に関する自主学習および実習課題設定のための自主学習を行ってください。			
テキスト	全国保育士会 2009 『全国保育士会倫理綱領ガイドブック』 全国社会福祉協議会 守巧ら 2014 『施設実習パーフェクトガイド』 わかば社 『平成 29 年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領』チャイルド本社			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	なし			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	実習に出るためには、これまでの学びの成果を発揮する必要があります。保育所実習 I に参加するまでに、1 年次で学習した内容を振り返っておくようにしましょう。 また、絵本や手作り教材、てあそび等の教材研究の積み重ねも必要です。自主的かつ積極的に行うようにしてください。			

達成度評価に関するコメント	各種課題の記述内容、実習の目標・課題等の設定、自己評価、提出物の提出状況(提出の遅延は大きく減点・未提出は実習不可とする)、および授業の積極的参加による総合評価とします。 成績評価の内その他 30%は、受講態度や授業中のマナーを実習に参加するために必要な準備ととらえ評価対象とします。
---------------	---